



ちあふる・みなみ 南区保育・子育て支援センター

オープン：平成 27 年 4 月 1 日（水）

場所：まこまる 1 階 ※右図参照

開館時間：

【保育（小規模保育）】

月～土 7：00～19：00（休館日：日曜日、祝日、年末年始）

【子育て支援】

月～土 9：00～17：00（休館日：日曜日、祝日、年末年始）

事業概要：

区保育・子育て支援センター（愛称：ちあふる）とは、各区における子育て支援の中心的役割を担う施設として札幌市が順次設置しているものです。保育機能と子育て支援機能を持っています。市内 8 か所目のちあふるを、まこまるに開設します。

【保育（小規模保育）】

◎実施内容：小規模保育事業（A 型）

◎定員：19 人（産休明け～3 歳未満の乳幼児）

◎特別保育：時間外保育

※入所の申込みはお住まいの区の健康・子ども課へ



【子育て支援】

◎常設子育てサロン

親子や家族で楽しく遊んだり、子育て家庭が自由に交流できる「子育てサロン」を開設します。子育ての仲間やボランティアとのつながりを持ち、情報交換をする場を提供することで、育児の不安や負担の軽減を図ります。



◎子育て講座（随時）

離乳食やしつけなど、子育てに関する知識を深める講座を開催します。親の育児力の向上を図るとともに、ゆとりを持って子育てができるようにリフレッシュの機会を提供します。



◎小・中・高生の育児体験支援

各学校と連携し、児童・生徒の年齢にあったプログラムで、乳幼児とふれあう場を提供します。

◎地域子育てサロンの運営支援

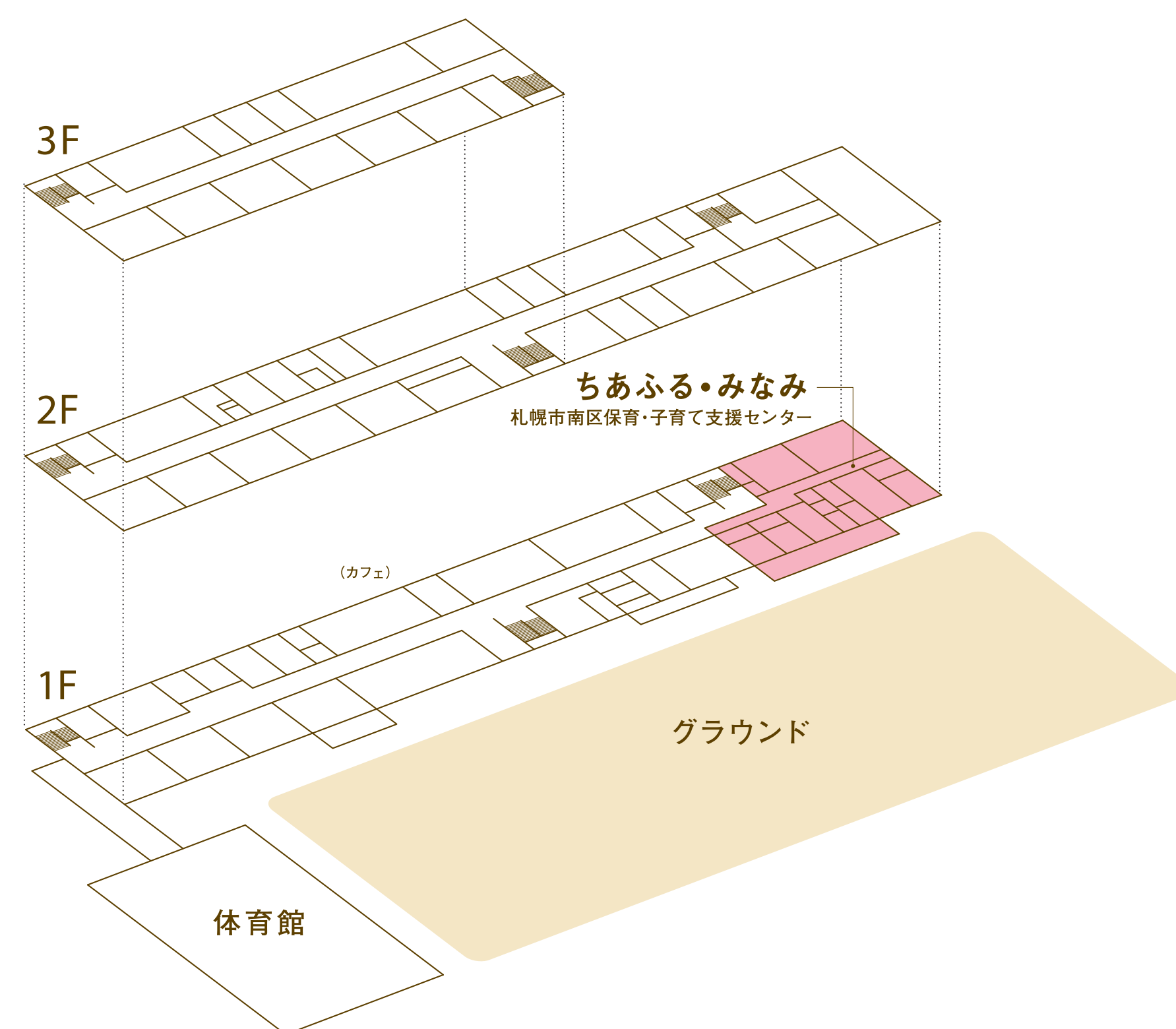
地域の子育てサロンが充実し、安定した運営ができるように支援します。

◎子育てに関する情報提供や相談

保育サービスや子育てに関する情報の提供を行い、お子さんの成長・発達における心配や悩み事などの相談を来所や電話などでお受けします。必要に応じて関係機関との連携を取りながら、問題の解決の手助けをすることで、ゆとりを持った子育てができるように支援していきます。

◎子育てボランティアの育成及び地域支援者の活動支援

親子とふれあう場を提供し、地域で子育てを支えるボランティアの育成を図り、地域支援者の活動を支援します。





まちの学校 札幌市立大学 COC キャンパス

～子どもから大人まで、気軽に地域のみなさまが集える場に来てみませんか？～

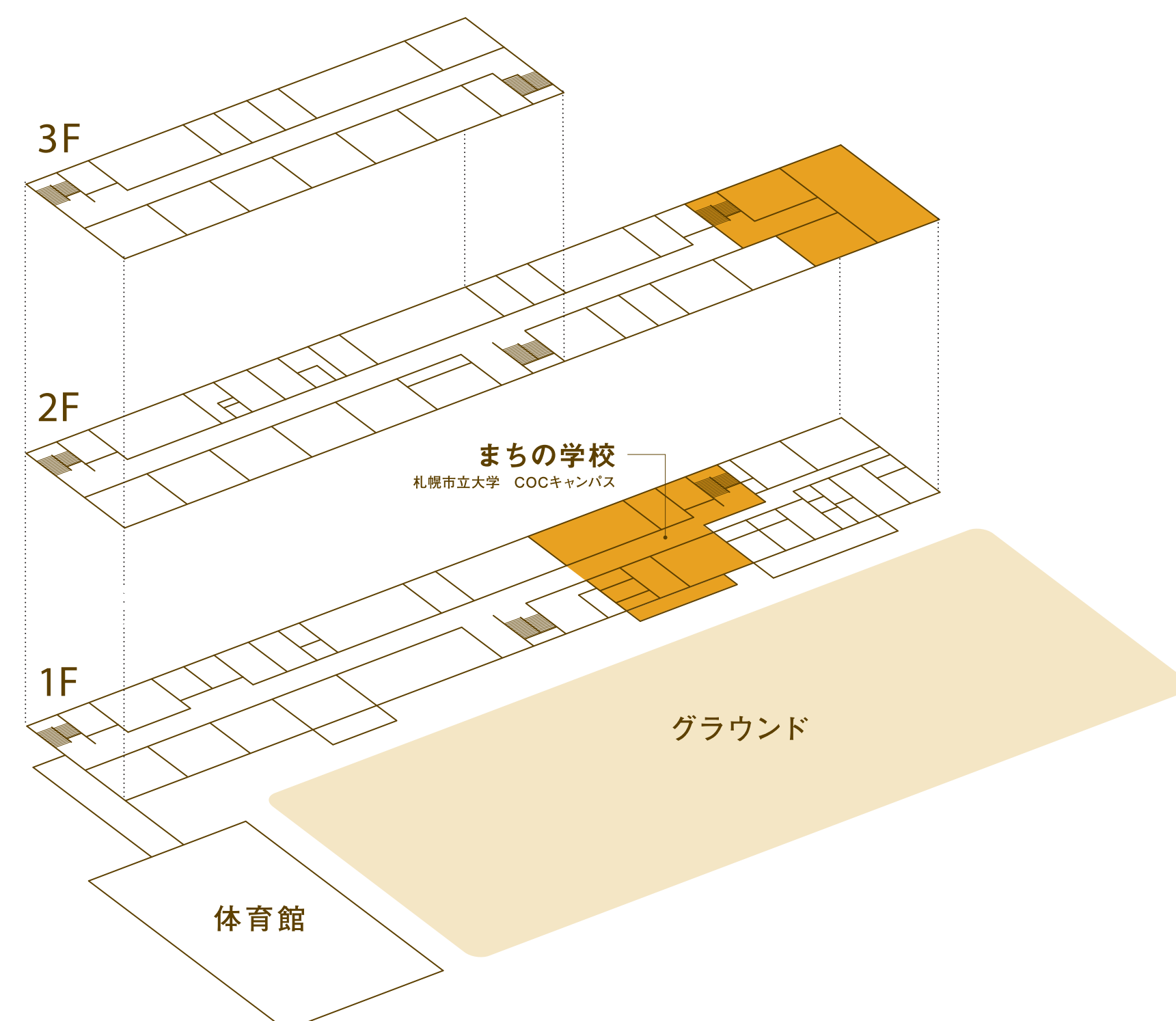
まこまる

オープン：平成 27 年 5 月 9 日（土）

場所：まこまる 1 階・2 階 ※右図参照

事業概要：

札幌市立大学 COC キャンパスまちの学校は、SCU（Sapporo=S, City=C, University=U）がまち中に新たに設置するキャンパスです。従来の、教員と学生の二者による閉じられた教育の場としてのキャンパスから、一般市民が日常生活を送るまち中に歩み出て、多世代・多セクターの人々と学生や教職員が学び合えるキャンパスを設け、協奏型地域社会のあるべき姿を考え合い、さまざまな試みの活動を実践し合う場の運営をおこないます。



各部屋の紹介：

◎(仮称) SCU まちの図書室・談話室

地域の人々と学生の交流の場。学生が場のデザイン・企画・運営を行い、誰もが気軽に立ち寄ることができる場を目指します。

◎(仮称) SCU まちの職員室

大学の教職員が常住し、施設の企画・運営を行う拠点。

◎(仮称) SCU まちの保健室

地域の人々が気軽に健康相談に来ることが出来る場所。看護教員やボランティアスタッフに、人に聞かれたくない悩ごとや健康に関する相談ができます。

◎(仮称) SCU まちの ホームルーム

地域活動を行う学生のためのまちなか活動拠点。学生が作業や打ち合わせをおこなうことができ、ここを拠点にさまざまなプロジェクトを展開していきます。

◎(仮称) SCU A組・B組まちの教室

大学の公開講座や授業公開、まちの人が先生になるプロジェクト「まちの先生」の講座等、小学校の教室をそのまま活かした学びの場です。

◎(仮称) SCU まちの講堂

フォーラムなど、大人数が集まるイベントを開催できる大きな部屋です。

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」とは？

＊COC＝Center of Community

自治体と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を、文部科学省が５年間にわたり支援する事業です。平成２５年度に５２件、平成２６年度に２５件の大学事業が選ばれています。課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、「地域コミュニティ」の中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。





不登校対策関連施設

澄川相談指導教室が「まこまる」に移転開室します！

まこまる

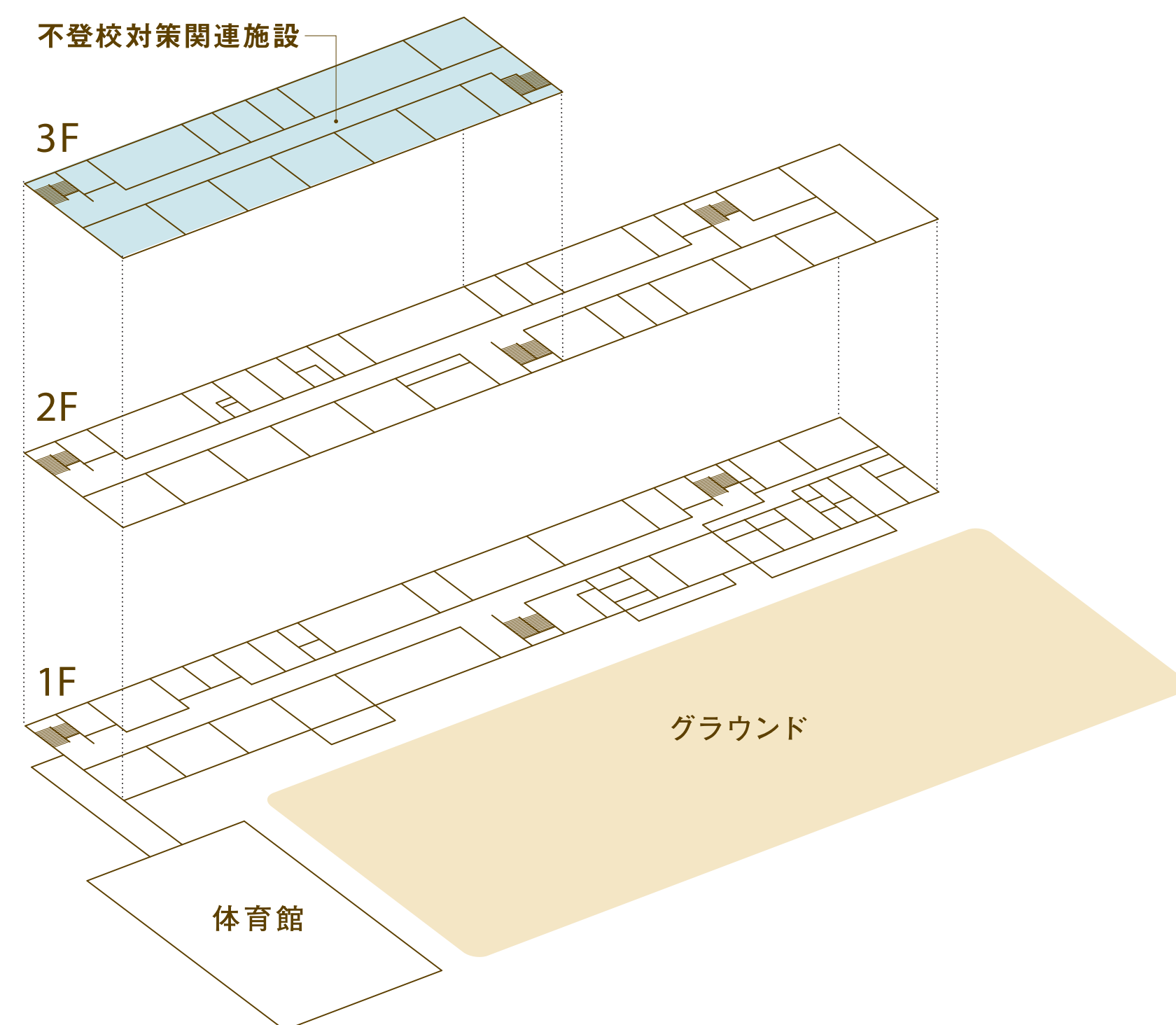
オープン：平成 28 年 5 月上旬（予定）

場所：まこまる 3 階 ※右図参照

開館時間：
月～金 9：00～15：00（予定）

事業概要：
【不登校児童生徒への支援】

札幌市では、不登校児童生徒の学校復帰を目的として。市内 6 か所の支援施設において、仲間とともに学ぶ楽しさを体験することにより、不登校状況の改善を図るための支援を行っています。



澄川相談指導教室

教育支援センター白石

白石区本通 16 丁目
リフレサッポロ 2F
(TEL)826-4671
(FAX)826-4672

- 小中学生対象
- 教科の学習
- 体験的な学習
- 保護者相談の実施

教育支援センター宮の沢

西区宮の沢 1 条 1 丁目
ちえりあ 3F
(TEL)668-2002
(FAX)668-2003

伏見相談指導教室

中央区南 18 条西 15 丁目
伏見小学校内
(TEL)551-0851
(FAX)551-0862

青葉相談指導教室

厚別区青葉町 6 丁目
青葉小学校内
(TEL・FAX)891-1503

新琴似相談指導教室

北区新琴似 7 条 3 丁目
新琴似小学校内
(TEL)765-8378
(FAX)765-8379

市内の支援施設での活動風景



【澄川指導教室の移転】

現在澄川小学校にある、不登校の小中学生を支援する相談指導教室を「まこまる」に移転し、平成 28 年 5 月に開設します。「まこまる」の不登校対策関連施設では、地域の恵まれた環境を活用して、より充実した体験活動を取り入れた支援プログラムを実施します。また、保護者や子どもの個別相談を実施します。

●まこまるで実施を想定している活動事例

- 運動や創作活動などの体験的な活動
- 農作業や調理などの施設の特徴を活かした活動
- 地域の公園での活動や、図書館等の公共施設を活用した活動





Co ミドリ (こみどり) 子どもの体験活動の場

まこまる

オープン：平成27年4月10日（金）

場所：まこまる 1 階 ※右図参照

開館時間：

金曜日 11:00~17:00 / 土・日・祝 9:00~17:00

※夏休みから開館時間は広げていきます。

事業概要：

【コンセプト】

～交流と実践の2つの場づくり～

“交流” いっしょにつくる場 ～地域の方と、多世代間と、仲間と、一緒につくり上げていく場

“実践” 好きなことを体験できる場 ～いつでも、やりたいことを、好きな時にできる場

【内容】

◎冒険遊び「プレーパーク」

いつでも遊びに来て、何でも好きなことができる。

失敗や痛い思いも含めて、子ども自身が体験をすることを応援する。

そんな場をプレーパークと言います。

のこぎりと金づちを使って小屋を作ったり、

針とはさみでクッションを作ったり、鍋とボウルで団子を作ったり。

Co ミドリでは、施設全体をプレーパークとして開放します。

◎選択する生活文化体験学習

「もっとこういうことをやりたい」という子どもの想いと

「子どもたちにこんなことを伝えたい」という大人の想いをミックスさせます。

地域のみなさんの得意分野を私たちが体験プログラム化して、

子どもたちが自分の興味のあるプログラムを選択して体験できる。

そんなプログラムを Co ミドリは開発していきます。

◎子どもの体験活動を支援できる人材育成・組織づくり

子どもたちにとって本当に必要な遊びを考え、実践できる人材育成に取り組みます。

また、そのために必要な組織づくりを進めていきます。



コミュニティカフェ 多世代交流・地域連携の場

[illegible]

オープン：平成27年4月10日（金）

場所：まこまる 1 階 ※右上図参照

開館時間：水～日 11：00～17：00

事業概要：

誰もが気軽に立ち寄れるカフェ。地域や札幌市立大学との協働によるソフト事業、ベロタクシーを活用したプログラム開発など、まちづくりの交流・連携拠点としての利用を予定しています。